令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
商　業	簿記	３	３―２、３－３

１．学習の到達目標

・経営活動に伴う取引を正確、明瞭に記録・計算・整理するための知識と技術を習得させる。

・全商簿記実務検定試験３級の取得を目標とする。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	全商簿記実務検定試験対策 第Ⅴ編　特殊な取引 　１．　特殊な手形取引の記帳 第Ⅵ編　決算（２） 　１．　決算整理（その２）	・６月の全商簿記実務検定試験までは前年度使用の「完全段階式標準検定簿記問題集全商３級（とうほう）」を活用し、検定対策を行う。 ・約束手形の書き換え、不渡手形、営業外手形の記帳法について理解する。 ・固定資産の減価償却費の計算と記帳（定率法と間接法）、有価証券の評価、当座借越勘定への振り替え、費用・収益の繰延べ・見越しに係る記帳法について理解する。
２学期	第Ⅶ編　本支店会計 　１．本支店間の取引 　２．本支店財務諸表の合併	・支店会計が独立している場合の本店と支店間の取引、支店が計上した当期純損益の処理、支店相互間の取引の記帳法について理解する。 ・支店会計が独立している場合の本店と支店における決算手続の流れ、未達取引の整理方法、内部利益を含まない合併財務諸表の作成方法について理解する。
３学期	・検定問題練習 ・全商簿記実務検定３級模擬問題の練習と解説	・全商３級検定を取得させる。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	３つの観点のもと、考査・提出物等授業態度による評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	簿記について実務に即して基本を体系的・系統的に理解するとともに、関連する土台となる基本的な技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	簿記（東京法令出版）
副　教　材	反復式　簿記問題集　全商２級（実教出版）